科目コード	N22318	科目名	地域包括ケア論				
履修区分	必修	開講期	3年前期	授業回数	8回	単位数	1単位
担当者	今坂　鈴江／風間　栄子						
授業の概要	地域包括ケアの概念と様々なライフサイクル、健康レベルにある人々の地域における健康支援、ケアシステムとケアの提供について学ぶ。さらに医療施設のみにとどまらず地域で生活する多様な人々を対象とした看護および多職種連携について学び、保健医療と看護についての包括的な視点を身につける。						

DPとの関連		
	①平和を希求する姿勢を身につける	△
	②豊かな教養を身につける	△
	③高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける	◎
	④看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける	◎
	⑤地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける	◎
	⑥自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける	○
	⑦多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける	◎
	⑧社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける	◎
	⑨異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける	○
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力	

到達目標

１．地域包括の概念について理解できる。
２．様々なライフサイクル、健康レベルにある人々の地域における健康支援、ケアの提供について理解できる。
３．地域で生活する多様な人々を対象とした看護の多職種や患者・家族に対する役割について理解する。
４．地域包括ケアにおける多様な専門職および地域の人々との連携協働し活動する看護の役割について学ぶ。
５．地域包括ケアの取り組みの実際を知る。

履修上の注意事項

資料は講義時に配布します。予備の配布は行いませんので、無断欠席や紛失の場合は、各自の責任において対応してください。提出物は期限を厳守してください。授業中の私語、携帯電話の使用は禁止です。

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	地域包括ケアシステムの背景と概要【今坂鈴江／風間栄子】	事前学習：テキスト該当範囲の通読（40分）、事後学習：テキストと講義資料の熟読、学修内容の整理（60分）
2	地域包括システムの実際【今坂鈴江／風間栄子】	事前学習：テキスト該当範囲の通読（40分）、事後学習：テキストと講義資料の熟読、学修内容の整理（60分）
3	地域包括システムの実際（リプロ・小児）【今坂鈴江／風間栄子】	事前学習：テキスト該当範囲の通読（40分）、事後学習：テキストと講義資料の熟読、学修内容の整理（60分）
4	地域包括システムの実際（成人①）【今坂鈴江／風間栄子】	事前学習：テキスト該当範囲の通読（40分）、事後学習：テキストと講義資料の熟読、学修内容の整理（60分）
5	地域包括システムの実際（成人②）【今坂鈴江／風間栄子】	事前学習：テキスト該当範囲の通読（40分）、事後学習：テキストと講義資料の熟読、学修内容の整理（60分）
6	地域包括システムの実際（老年）【今坂鈴江／風間栄子】	事前学習：テキスト該当範囲の通読（40分）、事後学習：テキストと講義資料の熟読、学修内容の整理（60分）
7	地域包括システムの実際（精神）【今坂鈴江／風間栄子】	事前学習：テキスト該当範囲の通読（40分）、事後学習：テキストと講義資料の熟読、学修内容の整理（60分）
8	住み慣れた地域での暮らしを考える【今坂鈴江／風間栄子】	事前学習：テキスト該当範囲の通読（40分）、事後学習：テキストと講義資料の熟読、学修内容の整理（60分）

成績評価方法

筆記試験60点。レポート40点。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。
ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	系統看護学講座　専門分野　地域・在宅看護の基盤　地域・在宅看護論１　医学書院（２年次に購入済み）	978-4-260-04689-3
参考書		

教員からのメッセージ

これからの医療・看護を考えるうえで重要な科目となります。

教員との連絡方法

Cラーニングで連絡してください。

実務経験のある教員

全ての担当教員が看護職としての実務経験あり。
地域包括ケアシステムと実際について講義する。